

令和 5 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園
2	指定管理者 名 称	環境整備株式会社 代表取締役 上田哲也
	住 所	栃木県宇都宮市岩曾町 1 3 3 3
3	指 定期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 1 0 年 3 月 3 1 日（5 年間）
4	施設所管課	那須町教育委員会 生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	協定書、仕様書に基づき、年度毎に事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等、委託事業全般において、事業計画どおりに履行されていた。
6	利用状況、運営状況	○利用状況 令和 5 年度のスイミングドームの利用者は、42,734 人で前年比 2,233 人の増であった。町内外の内訳は、町内者 55.0%、町外者 45.0%で、年齢層の内訳は、大人(18 歳以上)61.8%、高校生 0.5%、小・中学生 29.5%、幼児 8.2%であった。 利用者の増加については、新型コロナウイルス感染症対策による休館対応がなくなり、年間を通して通常営業が行えたことにより、コロナ禍前の利用に回復しつつあることが要因となった。しかしながら、コロナ禍前（平成 30 年度：45,339 人）の利用者数からは約 3 千人少ない状況であった。 また、余笹川ふれあい公園の団体等利用者は、グラウンドゴルフの利用者が 13,023 人で前年比 264 人の減、その他の団体利用者が 3,432 人で前年度より 8,959 人の減となった。 利用者の減少については、イベントや大会等はコロナ禍前に回復しつつありますが、とちぎ国体による利用が無くなったことが大きな要因となった。 ○運営状況 ・管理運営期間：令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日まで ・営業日数：3 0 7 日 ・職員管理体制：総括管理責任者 1 人 - 運営責任者 1 人 - スイミングドーム 責任者 1 人 - スイミングドーム 副責任者 1 人 - スイミングドーム アシスタント 1 人 - プール監視員 1 3 人 - 送迎運転手 2 人 - 受付 3 人 - 清掃 2 人 ・事故や災害等の対策・対応、個人情報管理 緊急時は、環境整備株式会社栃木支店長が本部長となり、「指定管理者施設対策本部」を設置し、会社全体で対応することとしており、不測の事態が生じたときは、利用者の人命を優先とする対応の周知徹底を行い、個人情報管理については、関係法令を遵守することはもちろんのこと、取扱いにあたっては、安全な場所に保管するなど対策を講じている。 なお、緊急時の迅速な対応のため、緊急対応組織図を職員へ周知するとともに、救助訓練、消防総合訓練、水上安全法研修等を実施していた。

7 町民（利用者）からの意見・要望・事案や利用者の満足度調査の評価

○苦情・要望の把握 ※苦情、要望がある場合、詳しく記す事

○利用者の満足度(アンケートなど)について ※できれば割合や数値も表記する事

〔アンケート〕 令和6年2月9日～11日（開業日イベント）実施

那須スイミングドーム利用者 200名

余笹川ふれあい公園利用者 6名

- ①スタッフ対応について「良い84%、普通13%」となっており、利用者の満足度は高い。
- ②施設及び設備面について「良い65%、どちらともいえない14%、悪い8%、改善が必要9%」となっており、利用者の満足度は比較的高いが、改善等についての意見があった。
内容としては、トイレの洋式化やシャワールーム、ロッカールームの改善であった。
(例年要望あり)
- ③清掃状況について「良い78%、どちらともいえない15%、改善が必要3%」となっており、利用者の満足度は高く、良好な環境を保持していた。
- ④利用料金について「安い42%、どちらともいえない44%、高い6%」となっており、概ね適正料金であると考えられるが、料金値下げやシニア料金の設定などの要望があった。
- ⑤半年券について「現状で良い73%、変更してほしい6%」となっており、概ね適正料金であると考えられるが、料金値下げやシニア料金・1年券の設定などの要望があった。

8 指定管理者の収支状況、維持管理状況の評価

○収支状況 ※収入、支出ともに前年比も含めて記す事

令和5年度収支について、収入総額は80,439千円(うち、委託料50,600千円、売上金29,839千円)の前年比4,589千円の増に対し、支出総額は前年比2,108千円増の86,529千円であり、6,090千円(前年比2,481千円増)の赤字となった。赤字の要因としては、近年の原油価格高騰による光熱水費の高騰が大きな要因となった。

なお、昨年に引き続き、光熱費の支出が事業予算を大幅に超過したため、基本協定書に基づくリスク分担協議を行い、事業者1,056千円、町3,513千円をそれぞれ負担することとなった。今後も光熱費の高騰が続くことが見込まれることから、時短営業等の光熱費抑制に向けた対応を検討する必要がある。

○施設の保守・点検、施設の修繕等の維持管理状況

※当年度で掛かった費用がある場合、記す事

令和5年度中の施設の保守点検作業は以下に示す業務が適正に行われていた。

【那須スイミングドーム】

清掃管理（ごみ処理、定期清掃）

機械警備

自動制御機器保守点検

冷温水機冷却塔保守点検

合併浄化槽処理装置保守点検及び清掃

電気設備特別点検

温水ヒーター保守点検

自家用電気工作物保安全管理

循環ろ過設備定期点検

水質検査（水道水、プール水、ジャグジー）

自動券売機保守点検

自動ドア保守点検

消防設備保守点検

スライダ点検

滅菌機保守点検

館内害虫駆除消毒

プール水槽薬品洗浄

貯水槽清掃点検
空気環境測定検査
空調機器清掃点検
小規模水道に関する水質検査
地下タンク漏洩検査
腸内細菌検査
ばい煙測定
ジャグジー清掃消毒
ジャグジーヘアーキャッチャー清掃

【余笹川ふれあい公園】

緑地管理
合併浄化槽保守点検及び清掃
遊具点検
清掃管理

○令和5年度中の修繕（30万円未満）は、以下の修繕が実施された。（総額 1,574,578 円）

【那須スイミングドーム】

女子更衣室ロッカー内錆取り及び塗装修繕
浄化槽原水槽ポンプ・フロートスイッチ交換工事
入口玄関照明追加設置
男子・女子更衣室ドアクローザー修繕
男子更衣室シャワーヘッド交換
障がい者室自動ドア修繕
スライダー補修
正面玄関照明外灯修繕
男子トイレ水漏れ修繕
温水ヒーター1号機対流ポンプ漏水修繕
従業員男子トイレ蛍光灯器具交換
AC1プール系統制御用調節計交換
温水ヘッター各配管系統修繕
玄関インターロッキング内照明一部修繕
ジャグジーろ過機アフターラン修繕
換気扇補修
プール内タイル目地修繕
館内モニュメント塗装
給油1次循環2号機玉フレキ交換

【余笹川ふれあい公園】

公衆トイレ水道蛇口交換
入口電球交換
波型ラダー（遊具）修繕
外灯修繕（LED）
東小屋・池側ベンチ補修
駐車場白線塗装

〈参考：町が修繕及び購入したもの〉

【那須スイミングドーム】

床張替工事
給湯設備配管更新工事

監視カメラ更新工事
井戸ポンプ更新工事
ラインポンプ更新工事
自動制御装置補修（落雷故障）

【余笹川ふれあい公園】
遊具新設工事
北側トイレ改修工事

9 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）

町と指定管理者は、毎月定例会を実施し、事業報告及び改修・修繕必要箇所の確認、利用者からの要望等の情報交換を行っており、速やかな対応に努めている。

施設面においては、平成8年開設以来27年が経過していることから老朽化が進み、特に機械設備の全体的な更新・修繕等の必要性が生じており、段階的な更新・修繕を実施している。今後も点検・確認作業等を適宜実施し、不具合等の早期発見、早急な修繕等の対応に努めるとともに、施設利用者の安全を最優先とした管理運営の徹底を図っていただきたい。

また、余笹川ふれあい公園へ令和5年度に新規遊具を設置し、令和6年度においても複合遊具を設置予定であり、公園設備の充実が図られるため、那須スイミングドーム及び余笹川ふれあい公園の情報発信を積極的に行い、利用者拡大への取り組みを推進してほしい。

10 評価ランク : B

A：非常に良好な施設の運営状況であった D：やや課題のある施設の運営状況であった
B：良好な施設の運営状況であった E：課題のある施設の運営状況であった
C：普通の施設の運営状況であった

令和 5 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町立図書館
2	指定管理者 名 称	株式会社図書館流通センター
	住 所	東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号
3	指 定期 間	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 11 年 3 月 31 日 (5 年間)
4	施設所管課	那須町教育委員会 生涯学習課
5	履行状況 (町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等)	・協定書、仕様書に沿って業務は、概ね予定どおり履行されている。
6	利用状況、運営状況	○利用状況 ※数値と前年比、当年度の町内と町外の利用者の割合、利用者の年齢層 ・入館者数：39,215 人 (前年比 1,033 人増) ・貸出者数：13,129 人 (前年比 28 人増) うち、町内者：10,945 人 (83.4%) - 貸出者の年齢層：18 歳以下 752 人 (5.7%)、19～59 歳 1,627 人 (12.4%)、60 歳以上 4,151 人 (31.6%)、その他 (団体貸出ほか) 6,599 人 (50.3%) 【1 日当たりの平均】 ・入館者数：127.3 人 (前年比 1.5 人増) ・貸出人数：42.6 人 (前年比 0.6 人減) ○運営状況 ※当年度の開館日数、職員体制、事故や災害時の緊急時の対策・対応、個人情報管理 ・開館日数：308 日 (前年比 5 日増) ・職員体制：7 人 (うち司書 4 人) ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・個人情報について、適切に管理及び処理している。
7	町民 (利用者) からの意見・要望・事案や利用者の満足度調査の評価	○苦情・要望の把握 ※苦情、要望がある場合、詳しく記す事 ・エレベーターの設置 ・施設内の改修の要望 (リニューアル) ・駐車場に車が駐車できない ・エアコンの効きが悪い ・カフェコーナーの設置 (飲食スペース) ・なるべく新しい作家の本を置いてほしい ・俳句の DVD や CD の充実 ・絵本が探しにくい (那須町では、シリーズごと作者ごとにまとめておいてあるため) ○利用者の満足度 (アンケートなど) について ※できれば割合や数値も表記する事 ・アンケート調査によると、図書館の開館日数、図書整理状況、予約サービス、スタッフの対応、館内の清潔さについて、昨年同様概ね満足されている状況である。 【アンケート結果】回答者数：169 名 (R4 年度 215 名) ・開館日数：満足 59.28%、大体満足 24.74%、普通 15.46%、やや不満 0.52%、不満 0% ※やや不満については、月曜日開館を求めている。 ・図書整理：満足 40.41%、大体満足 30.05%、普通 26.42%、やや不満 2.59%、不満 0.52% ・予約サービス：満足 44.64%、大体満足 25.60%、普通 29.17%、やや不満 0.60%、不満 0% ・スタッフ対応：満足 64.80%、大体満足 23.47%、普通 11.22%、やや不満 0%、不満 0.51% ・館内の清潔さ：満足 56.77%、大体満足 25.52%、普通 15.10%、やや不満 2.08%、不満 0.52%

8 指定管理者の収支状況、維持管理状況の評価 ○収支状況 ※収入、支出ともに前年比も含めて記す事 【収入】 45,166,080 円 [前年比：1.2%減 (539,637 円減)] ・内訳 - 指定管理料 45,006,500 円 - その他（自販機収入等）159,580 円 ※R4 年度は、電気料金高騰による自治体負担分の収入があったが、R5 年度はなし。 【支出】 45,159,669 円（人件費、事務費等）[前年比：3.49%減 (1,636,503 円減)] 【収支差額】 6,411 円 [前年より 1,096,866 円増] ○施設の保守・点検、施設の修繕等の維持管理状況 ※当年度で掛かった費用がある場合、記す事 【指定管理者で実施】 ・設備点検 - 建物設備巡回点検、電気設備点検（定期、年次）、空調設備（フィルター清掃）、衛星設備（高架水槽清掃、水質検査）、環境衛生（残留塩素測定）、防災設備点検（総合、機器）、昇降機設備（定期、年次）、建築内部点検（自動扉）、清掃（日常、床、ガラス） ・その他 - ブラインド交換工事、雨樋修繕工事、配線工事 【参考】町が修繕したもの（※企業版ふるさと納税充当：5,116,760 円） ・トイレ改修工事（和式から洋式） 2,508,000 円 [※] ・自動火災報知設備更新工事 1,815,000 円 [※] ・防犯カメラ設置工事 767,250 円 [※] ・1 階床塩ビシート修繕工事 285,000 円 [※一部充当] ◆図書館整備については、横浜市にある企業【FutureWorkDesign 株式会社】の寄附により R4 年度から備品購入や修繕等を行っている。	9 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など） ・町と指定管理者は、毎月定期的に定例会を開催し、情報交換するとともに問題点の改善を図っている。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増えているほか、エレベーター設置の要望等もあり、長期的な施設の改修計画等を検討する必要がある。
10 評価ランク : B A：非常に良好な施設の運営状況であった D：やや課題のある施設の運営状況であった B：良好な施設の運営状況であった E：課題のある施設の運営状況であった C：普通の施設の運営状況であった	

令和 5 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須町共同利用模範牧場
2	指定管理者 名 称	株式会社 那須の農 代表取締役 岡田建史
	住 所	那須町大字漆塚 5 6
3	指 定 期 間	令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日（5 年間）
4	施設所管課	那須町農林振興課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	基本協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	○利用状況 延べ預託頭数については、乳用牛 112,824 頭（R 4：116,451 頭）で R 4 比 3,627 頭の減となり、内訳は次のとおり。 ・夏季放牧 69,148 頭（町内 48,464 頭（70.1%）、町外 20,684 頭（29.9%））（R 4 比 2,231 頭増） ・冬季預託 43,676 頭（町内 35,164 頭（80.5%）、町外 8,512 頭（19.5%））（R 4 比 5,858 頭減） 平成 28 年度において、吸収抑制対策事業を実施し全牧区利用可能となり、牧草畑の養生などの体制が整い次第、肉用牛の受け入れを再開する予定でしたが、令和 5 年度もイノシシによる草地被害や、BLV（牛白血病）陽性牛の受入れもあり、和牛の受け入れは再開していない。 ○運営状況 ・事務処理分野では、特に問題なく円滑に運営が行われた。 ・現場作業分野においても、特に問題なく円滑な運営が行われた。
7	町民（利用者）からの意見・要望・事案や利用者の満足度調査の評価	○苦情・要望の把握 ※苦情、要望がある場合、詳しく記す事 ○利用者の満足度（アンケートなど）について ※できれば割合や数値も表記する事 衛生対策面でも献身的に対応し、利用者にとって良い運営ができています。今後さらに利用者が満足するよう、技術向上を図る必要がある。
8	指定管理者の収支状況、維持管理状況の評価	○収支状況 ※収入、支出ともに前年比も含めて記す事 【収入】 収入総額 76,021 千円（消費税抜額） 前年 75,895 千円（消費税抜額） 前年比 100.2% 【支出】 支出総額 74,823 千円（消費税抜額） 前年 72,023 千円（消費税抜額） 前年比 103.9% 【収支差額】 事業損益 1,198 千円（消費税抜額） 前年 3,872 千円（消費税抜額） 前年比 30.9%

○施設の保守・点検、施設の修繕等の維持管理状況 ※当年度で掛かった費用がある場合、記す事 【指定管理者で実施】 ・設備点検 ・その他 【参考】町が修繕及び購入したもの ・トラクタークラッチ修繕（5号車・6号車・10号車） 3,171,817 円 ・ロールベアラー修繕 501,831 円
9 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など） 畜産担い手育成総合整備事業を活用した鳥獣被害対策の効果か、大きく落ち込んだ令和2年度より牧草の収穫量が年々増加傾向にある。 預託利用者からの苦情等も無く、全体的な収支もプラスであり安定した体制による良好な運営であった。 指定管理2期（令和2～6年度）の最終年度となったが、指定管理者制度による牧場運営を継続しない方針となり、令和6年度中に現指定管理者から町への引継を実施する予定である。
10 評価ランク : C A：非常に良好な施設の運営状況であった D：やや課題のある施設の運営状況であった B：良好な施設の運営状況であった E：課題のある施設の運営状況であった C：普通の施設の運営状況であった